

令和3年度 公開講座（短期課程）

担当科名	機械システム系メカトロニクス科	
担当者名	山口俊憲	
講座名	中小企業のための生産改善・革新セミナー (2)生産管理 ～生産管理は3S・標準化・見える化から始まる～	
実施日時	① 令和3年6月 9日（水）	18:00～21:00
	② 令和3年6月16日（水）	18:00～21:00
	③ 令和3年6月23日（水）	18:00～21:00
	④ 令和3年6月30日（水）	18:00～21:00
	⑤ 令和3年7月 7日（水）	18:00～21:00（計15時間）
募集定員	6人（申込者多数の場合最大10名程度まで）	
募 集 対 象	対象職種：不問（事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能）	
	受講に必要なレベル：不問（受講生の状況・希望に応じて内容を調整）	
注 意 点	<p>中小企業のための生産改善・革新セミナー(1)～(7)は企業などの現場改善を行う同一講師が全て担当しています。(1)～(7)の全てを受講することで、ものづくり改善に必要な知識を体系的に習得できますが、各講座を単独で受講しても理解できるような工夫をしています。例年、一つの講座を受講される方、全て受講される方、数年かけて全てを受講される方がいらっしゃいます。また、このセミナーは社会人を対象とした1年課程の「産業技術専攻科ものづくり改善コース」と一部連携しています。現場の課題解決に具体的に取り組みたい方は<u>産業技術専攻科の活用</u>もご検討ください。</p>	
講 座 内 容	<p>様々な企業から生産計画通りに生産するためにはどうしたらいいか、あるいはどのように計画を立てればいいのかとの相談を受けることがあります。これらの実現には、整理・整頓・清掃、標準化、見える化が基盤となります。</p> <p>本講座では、生産管理の基盤となる3S、標準化、見える化の必要性とその進め方について習得します。また、生産現場の現状を把握するためのIE手法（肯定分析、稼働分析、動作解析）や生産方式（セル生産、ライン生産）の違いについても学びます。</p> <p>講座は座学形式だけでなく、受講生の方が勤務する工場での問題点の把握や改善の方向性について検討したり、模擬生産ラインの分析・改善などを通して体験的に学んだりする構成になっています。また、本講座の担当講師が企業と取組んだ改善事例などについても紹介します。</p>	
目 標	現場において生産管理の手法を活用できる。また、手法活用の指導ができる。	
履 修 項 目	①生産とは何か、生産管理の視点から考える	(2時間)
	②生産方式への理解、セル生産とライン生産	(1時間)
	③3S、見える化、標準化、小ロット化	(3時間)
	④工程分析、稼働分析、工程改善、動作改善	(3時間)
	⑤原価管理、原価計算、改善効果のコストへの反	(1時間)
	⑥受講生が抱える課題の検討と模擬生産ラインを用いた実習	(3時間)
	⑦事例紹介	(2時間)

使用装置 ソフト・ 図書等	特になし			
受講 費用	受講料：6,900円（15時間コース）			
	自己負担： 円（テキスト： 円・材料費： 円）			
講座費用	報償費	円	印刷製本費	円
	費用弁償	円	消耗品費	円
	普通旅費	円	使用賃借料	円
その他	<p>○ 単位互換について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業のための生産改善・革新セミナーの(1)品質管理、(2)生産管理の2つを受講することで、機械システム系の生産工学への出席を免除する。但し、試験やレポートの提出を求める場合がある。 ・ この講座を受講することで、産業技術専攻科ものづくり改善コースの「統計・品質管理」の受講を一部免除する。 <p>○ 講師と講座について</p> <p>本セミナーの担当講師は大学・大学院で経営工学を専攻し、その後約20年、生産など様々な現場の改善に取り組んできています。また、このセミナーは社会環境の変化や講師が生産改善に取り組んだ成果などに基づき数年に一度大きな変更を加えながら10年以上開講し、延べ700名近い方が受講しています。</p> <p>○ 新型コロナ対策について</p> <p>基本的に対面での実施を予定しておりますが、状況に応じて遠隔などで実施することがございます。</p> <p>*例年、定員を超える申し込みを頂いているため、最大受け入れ人数を10名とした。</p>			